

# 東大和三中だより

令和2年5月11日

5月号 (No.1)

発行 東大和市立第三中学校

〒207-0016 東大和市中原2-7

TEL 042-564-5411

## 開校記念日

東大和市立第三中学校長 久森 信

早いもので、令和2年度がスタートして1ヶ月がたちました。とはいえ、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が延長され、学校も臨時休業が続いています。

「いつ学校が再開するのか?」「学習はどうなるのだろうか?」「早く友達や先生に会いたいな。部活動やりたいな。」など、先が見えない状況に不安はたくさんあると思います。

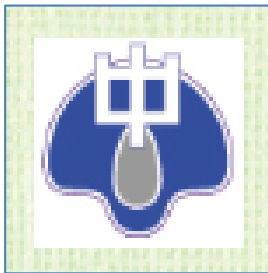
学習に関しては学校ホームページに臨時休業中の各学年の時間割や課題を更新していくので、できる限りのことを各家庭で頑張って、再開に向けての準備を進めてください。また、学習を含めて心配なことがある場合には、遠慮なく学校へ相談してください。SCの先生も来ています。

みんなで力を合わせて、この状況を乗り越えましょう。

さて、5月1日は東大和市立第三中学校の開校記念日です。昭和47年4月1日に、地域からの強い要望に応え、開校しました。

そして、開校当時から想いの数々を伝統として築きあげてきた本校は、来年50周年を迎えます。ここに至るまでには、保護者・地域の皆様の多大なるお力添えがあったことと、推察いたします。これからも、東大和市立第三中学校が発展していくために、教職員一同、精一杯頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

そこで、開校記念日にちなみ、三中の校章の由来を調べてみました。



校章の青い部分は「ひがしやまと」の「ひ」を図案化したもの。左は多摩湖の上の湖、右は下の湖を表し、それが向かい合っている様子は「協力・親和」の心を表しています。さらに、青に抱かれた中央の銀色の部分はみんなの協力で育った温かい、誠実な心を表し、これをみんなで積極的にみがき合っていく意欲を表現しています。

私は「誠実な心」という部分に注目してみました。「誠実」とは、私利私欲がなく、人や物事に対して真心があり、そして嘘をついたりしない真面目さがあるという意味があります。誰もが誠実な心を持った人でありたいと思っているはずですが、以下のようなことを心掛けるとよいそうです。

- 人をステイタス(=社会的地位)や損得勘定で見ない
- 相手を尊重する気持ちを忘れない
- 公平なコミュニケーションを心掛ける
- 素直な気持ちを忘れない
- 何事も最後まで責任を持つ
- ルールやマナーを守る

当たり前のことなのですが心にゆとりがないと、この6つを実践することは難しいなと思います。今このような状況だからこそ、焦らず心にゆとりをもち、1日1日を大切にしていきたいですね。そして「誠実な心」は、人を内面から美しくします。内面の美しさについては、またお話ししたいと思います。

6月からの学校再開に向けて、教職員一同準備を進めております。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。